

事例発表（2）

子供の可能性を引き出す学びのデザインに関する研究 — 「個別最適な学び」に着目して—  
 ～ 第2学年 地理的分野「日本の諸地域 中国・四国地方」の実践を通して ～

霧島市立舞鶴中学校  
 教諭 高木 秀和

1 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
中国・四国地方について, その地域的特色や地域の課題を理解する。	中国・四国地方において, 地域的特色に着目して, そこで生じる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現する。	中国・四国地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた人口の偏在, それに関連する特色ある自然環境, 産業の様子, 交通・通信等や, そこで生ずる課題を理解している。	人口や都市・村落を中核に設定した事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。	中国・四国地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を自ら集めたり, 他者と意見交換をしたりしながら, 自分事として主体的に追究しようとしている。

3 「個別最適な学び」に着目した「学びのデザイン」について

(1) 本単元における「学びのデザイン」の考え方

この単元は, 地理的分野「日本の諸地域 中国・四国地方」における地域的特色や地域の課題について追究する学習に取り組む。その際, 人口や都市・村落を中核に, 自然環境, 産業, 交通・通信等の事象にも着目し, 考察する。学習した内容をより自分事として捉えるために, 単元の最後の時間(まとめ)を取り上げて, 中国・四国地方の「どの県に旅行に行ってみたいか」という単元を貫く問い「パフォーマンス課題」を設定し, 一人一人の生徒がなぜそのように計画したのかをそれぞれが根拠を基に説明する。このような学習者の興味・関心に基づいた視点に立った学びをデザインすることで, 研究の目的を達成させることができると考え, 授業実践を行った。

(2) 手立て分類マトリクス(①～⑧は, 八つの視点の数字と対応)

	学びの過程	個別最適な学び(要件)	協働的な学び(要件)
生徒が主体的に学ぶための手立て	課題把握	「どの県に旅行に行ってみたいか」という解決したいと思える課題を一人一人が設定し, 自分事として考え, 取り組む意欲を高める。(④, ⑤, ⑦)	ペアやグループで友達が「どの県に旅行に行ってみたいか」と考えているかを把握する。(④, ⑤, ⑦)
	課題追究	各県の地域的特色や地域の課題を自ら追究するために自分で必要な資料を収集する。(④, ⑥, ⑦)	ペアやグループで友達がどのような視点で地域的特色を調べているのかを確認する。(④, ⑥, ⑦)
	課題解決	これまでの課題追究で獲得した既習の知識と他者との意見交換で得た知識を関連付け, 自らの考えを深化することで課題解決の実感をもつ。(④, ⑤, ⑦, ⑧)	自分の考えを友達に説明したり, 友達の考えを聞いたりする。 グループ内で発表した後に代表者を決め, 他の生徒は代表者の発表内容がさらに深まるように, 協力して意見を出す。(④, ⑤, ⑦, ⑧)
	新たな課題	これまでの学習を振り返り, 他の地域の学習に取り組む際の課題を設定する。そのことで他の地域の良さや関連性などに気付く。(⑥)	学習の振り返りの場面において, 相互評価する。特に誰のどのような発表が印象的だったかを記入する。(⑥)

#### 4 検証した学びについて

##### (1) 本授業における「学びのデザイン」の考え方

前時までに中国・四国地方の地域的特色やその地域の課題等について追究させ、「どの県に旅行に行ってみたいか」をまとめさせた。本時ではそれを基にグループ内で発表し、代表者を決めて全体に発表させる。発表する際は、根拠を示しながら説明するように指導した。

##### (2) 本時の実際

過程	主な学習活動	指導上の留意点
課題把握	1 本時の学習内容を確認し、学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     自分で調べた中国・四国地方の地域的特色等を基に、旅行に行きたい県を決めて発表しよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに教科書等を使って追究した内容を基に、自分事として発表ができるようにする。</li> </ul>
	2 グループ内で発表する方法や手順について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表方法のプリントを配布し、発表の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
課題追究	3 グループ内で発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>発表者は「どの県に旅行に行ってみたいか」について根拠を示しながら説明する。</li> <li>発表者以外の方は質問を考えながら聞く。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方の地域的特色等を調べてまとめたものを基に、「どの県に旅行に行きたいのか」を発表する。その際、教科書等のどの部分を参考にしたのかを示す。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【協働的な学び】</b></p> </div>
	4 グループ内での代表者を決め、代表者に発表内容の助言（アドバイスタイム）を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>グループのメンバー全員で代表者に助言を行い、その県に決めた理由をまとめる。</li> <li>代表者に対して質問する。答えられない場合はグループのメンバー全員で考える。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表者の発表をよりよくするために、グループ内の友達に意見をもらい、全体発表する内容に追加する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【協働的な学び】</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>学びが停滞している生徒</u> 自分のワークシートやアドバイスの内容を再度確認させることで、発表内容を自分で考えられるようにする。</li> <li><u>何をしていたらいいかわからない生徒</u> 自分で調べた内容を代表者に伝えることを提案する。</li> </ul>
課題解決	5 グループの代表者が全体に発表する。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表者は自分が調べたことと、アドバイスタイムで採用した意見の両方を発表する。<b>【協働的な学び】</b></li> </ul> </div>
新たな課題	6 相互評価をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>相互評価シートを使って、代表者の発表にコメントを書く。</li> <li>振り返りシートを使って、単元の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の出来たことや友達の発表を聞いてよかったことなどを書く活動を設定することで、本時や単元を振り返ることができるようにする。</li> </ul>